

4. 事例発表

～静岡市が取り組む自転車施策について～

静岡市都市局都市計画部交通政策課 市川 志乃 氏

静岡市が取り組む自転車施策について

静岡市 都市局 都市計画部 交通政策課



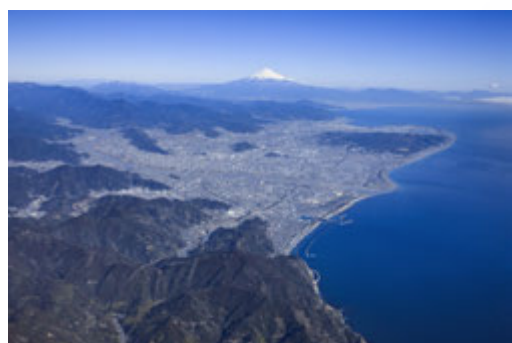
説明内容

- 1、静岡市の概要
- 2、静岡市自転車利用計画
- 3、自転車施策の取り組み紹介

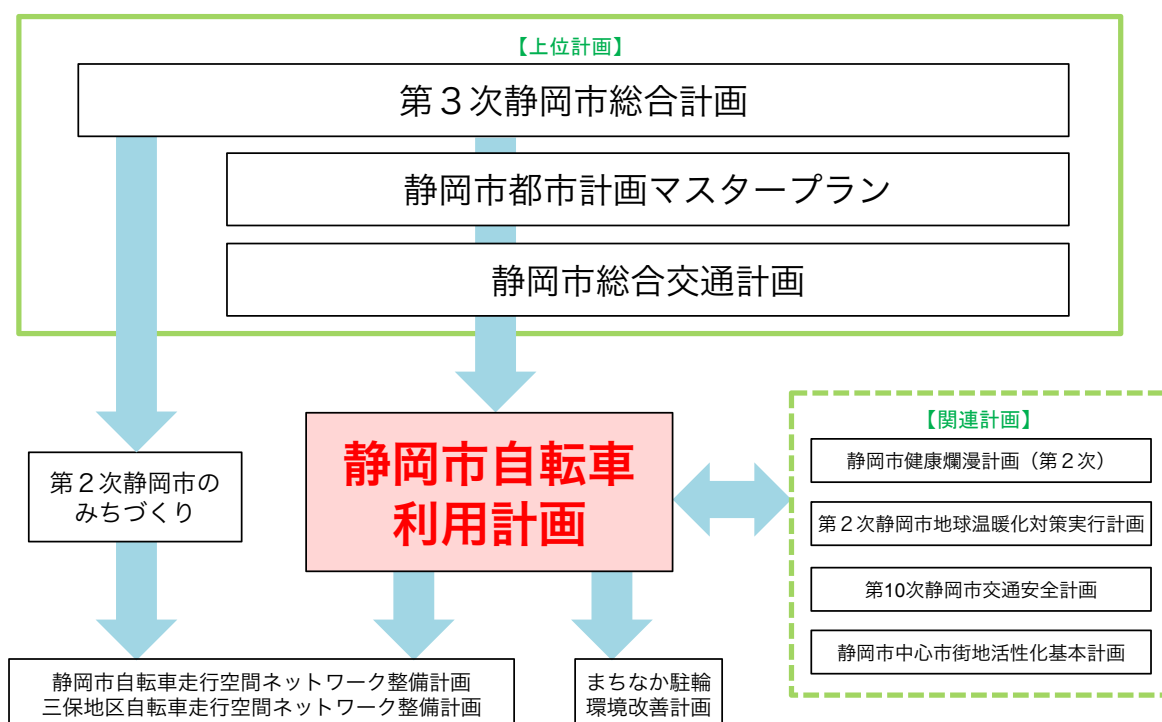


静岡市の概要

- 人口：約70万人（平成30年8月末時点）
- 面積：約1,400平方キロメートル
- 年間平均気温：17.6℃
- 平成17年4月1日に政令指定都市移行（全国で14番目）



静岡市自転車利用計画の位置づけ

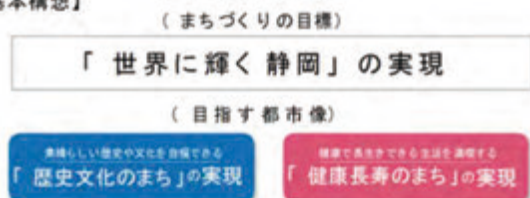


※第3次静岡市総合計画

- 平成27年度～平成35年度の8年間の計画
- 本市の人口は1990年の約74万人をピークに減少に転じており、このままの推移では2025年には約65万人に減少することが予想されている。人口の維持は、地域の持続的な発展のための重要な課題であるため、2025年の総人口を「**70万人**」に維持することを目標として掲げ、あらゆる施策を推進していく。



【基本構想】



【基本計画】



「目指す都市像」実現のための4要素・10分野



「都市・交通」分野

快適で質の高いまちの拠点と交通環境を充実させ、新たな交流と活力を生み出すまちの実現

自転車利用計画の推進

出典：第3次静岡市総合計画

※静岡市都市計画マスタープラン

- 第3次静岡市総合計画に掲げた人口70万人の維持に向け、平成28年3月に改定を行った。



将来都市構造の考え方



静岡市が目指す集約連携型都市構造図



「都市交通」分野

市民の健康志向への対応や自動車に過度に依存しない環境にやさしい都市構造の実現を目指す

自転車利用環境の向上（自転車利用計画の推進）

出典：静岡市都市計画マスタープラン

※静岡市総合交通計画

- 本市における交通政策のマスタープランとして、平成18年2月に策定した静岡市総合交通計画について、パーソントリップ調査の結果を踏まえ、**平成28年3月に改定**した。
- 20年後（平成47年）の将来を見据えた交通体系を示す計画とし、第3次静岡市総合計画（平成34年）までを短期・中期、それ以降を長期と位置付ける。



基本方針	集約連携型都市構造をささえる総合的な交通体系の構築	
基本目標1	【活力】	ひとが歩いて楽しいまち (中心市街地の活性化に資する交通体系の構築)
基本目標2	【生活】	ひとが公共交通に乗りやすいまち (良好な生活環境の形成に資する交通体系の構築)
基本目標3	【環境】	ひとが自転車に乗りやすいまち (環境負荷が小さく健康促進にも寄与する交通体系の構築)
基本目標4	【交流】	ひとが出会えるまち (拠点間の連絡性向上に寄与する交通体系の構築)

4つの目標と3つの分野別の方針、12の目標を定めている

公共交通分野	交通環境分野	道路分野
公共交通網の再編	公共交通を 使いやすい環境整備	拠点間の ネットワーク化

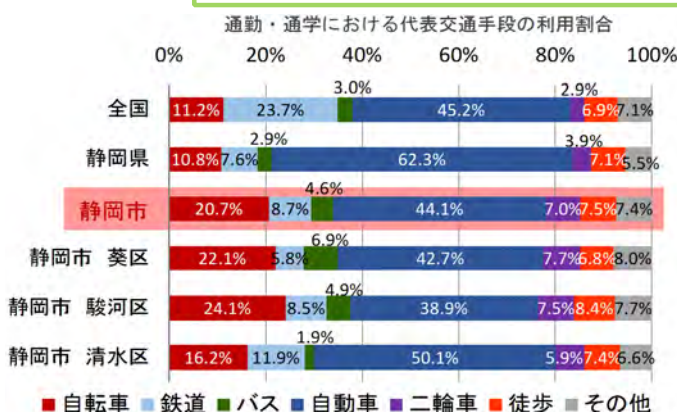
- 自転車の交通環境整備
- モビリティ・マネジメント
(自動車から公共交通・自転車への転換)
- 自転車走行空間の整備

静岡市における自転車の利用状況

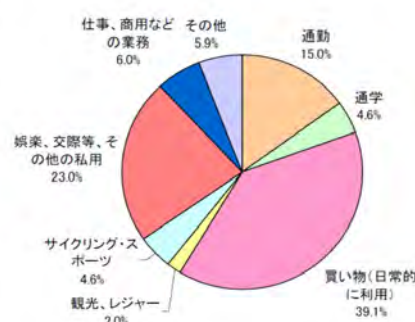
自転車利用に適したまち“しずおか”



自転車が多く利用されているまち“しずおか”



出典：総務省統計局 平成22年国勢調査
注：全国との比較のため国勢調査データを使用



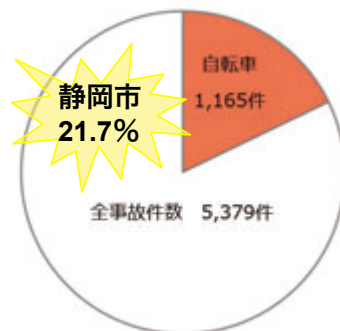
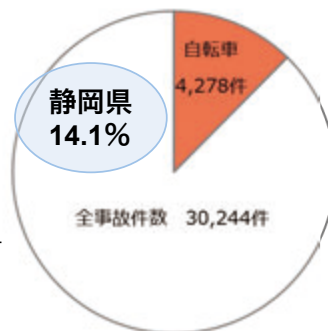
[市民アンケート：回収数 1,476]

出典：静岡市自転車道ネットワーク整備計画
(平成21年3月)

静岡市における自転車の利用状況

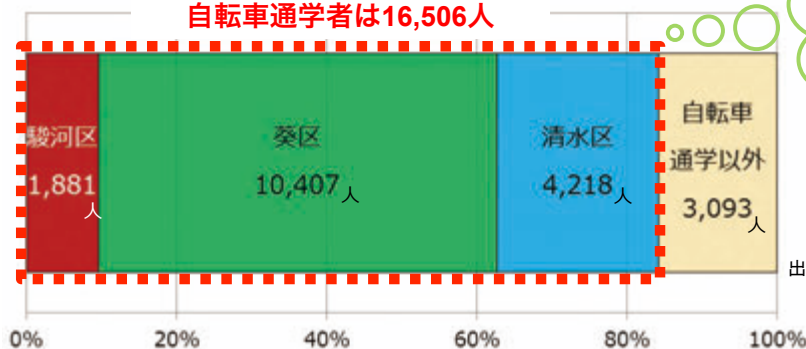
- 全事故件数に対して
自転車事故の占める割合が高い

出典：平成29年静岡市交通事故統計



- 高校生の通学手段として、
自転車が**約85%**と多くを占める

市内の高校生徒数19,599人の内、
自転車通学者は16,506人



自転車事故件数の
年代別結果をみると
65歳以上の高齢者に続き
**高校生の事故が
2番目に多い**

出典：「静岡市自転車走行空間ネットワーク整備計画」
H26年7～9月アンケート調査

静岡市自転車利用計画の策定

自転車を取り巻く環境
自転車のメリット

自転車利用に適した
静岡市



静岡市における
自転車関連の取組

静岡市における
自転車に関わる課題

平成26年度策定

静岡市自転車利用計画の考え方

世界水準の自転車都市“しずおか”の実現

市民が積極的に自転車を選択し、
誰もが安全で快適に自転車を利用できるまち



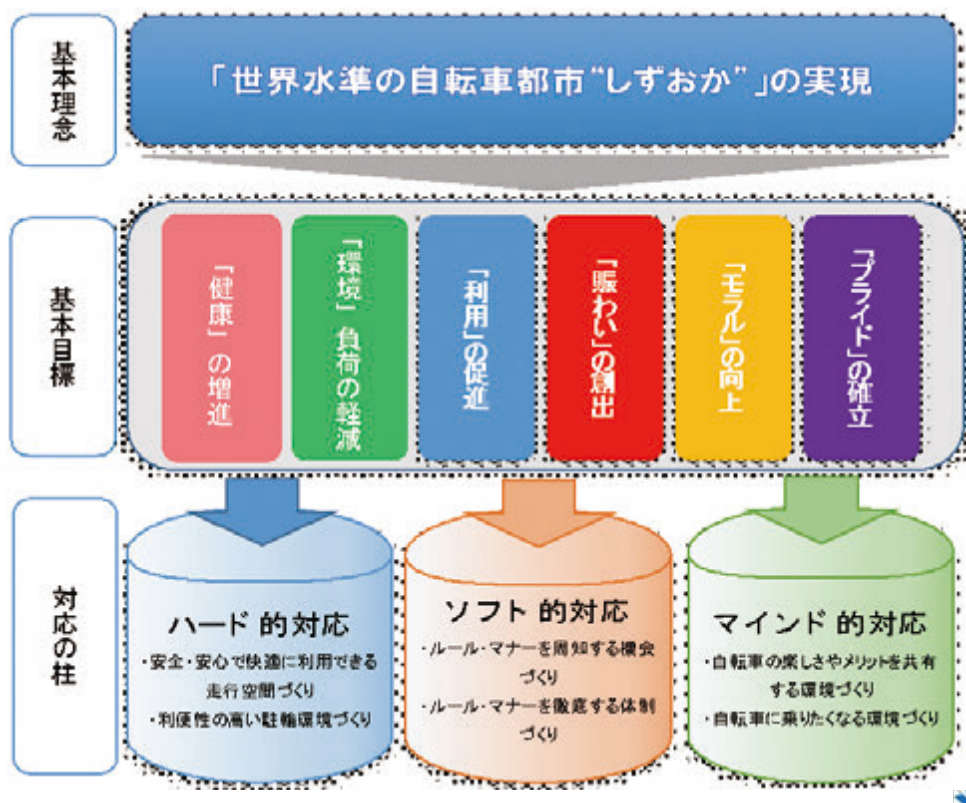
静岡市自転車利用計画の考え方

「世界水準の自転車都市“しずおか”」を実現するため、下記の6つを基本目標として設定した

「健康」の増進	積極的な自転車の利用により、体を動かすことで、心身の健康を育くみ、「健康」の増進を図ります。
「環境」負荷の軽減	積極的な自転車の利用により、「環境」負荷の軽減を図り、快適な生活環境を創ります。
「利用」の促進	安全・安心で快適に走行や駐輪できる環境を整え、気軽に利用ができる移動手段として、自転車「利用」の促進を図ります。
「賑わい」の創出	自転車でまちに“つながぎ”、市内を“めぐり”、仲間と“つどろ”ことができるまちを構築し、自転車人口の増加による「賑わい」の創出を図ります。
「モラル」の向上	自転車ルールを遵守し、マナーに対する意識が高い、市民の「モラル」の向上を図ります。
「プライド」の確立	市民や地元企業と連携・協力し、積極的な自転車施策を推進していくことで、自転車と言ったら、“しずおか”と誇りに思える「プライド」の確立を図ります。

静岡市自転車利用計画の考え方

6つの基本目標を達成するために、3つの対応の柱に基づく取り組みを推進



静岡市自転車利用計画の推進

項目	対応方針
走行空間	○誰もが自転車で安全に走行できる空間が必要 ⇒安全に通行できる自転車走行空間の確保
標示	○自転車が走行する位置を看板や路面表示等で明示することが必要 ⇒自転車走行空間への誘導方策の実施
ルール マナー教育	○自転車のルール・マナーを学ぶ機会を増やすことが必要 ⇒自転車利用者に対するルール・マナー啓発の促進
規制	○ドライバー等、自転車利用者以外にも自転車の通行ルール・マナーを理解してもらうことが必要 ⇒自転車以外の道路利用者に対するモラル向上
放置自転車	○駐輪のルールを知らない自転車利用者が存在しており対策が必要 ⇒駐輪に対する意識向上
駐輪 利便性	○駐輪場が不足するエリアに、需要に見合う駐輪スペースを確保することが必要 ⇒ニーズにあった駐輪場整備 ○使いやすい場所、設備での駐輪場整備が必要 ⇒高齢者や女性等にも使いやすい駐輪場整備 ○都心部では利用されていない地下駐輪場、民間駐輪場、未利用地等の有効利用が望まれる ⇒既存駐輪場等の利用促進・有効活用 ○使いやすい場所、設備での駐輪場整備が必要 ⇒工具等を備えた休憩場所の整備
経済 観光 レジャー	○幅広い自転車産業が発達するために“自転車市場”の拡大が必要 ⇒サイクルレジャーや自転車通勤などの利用者拡大支援 ○自転車を活かした産業振興が必要 ⇒サイクルレジャー産業を振興 ○静岡市が自転車のまちであること、自転車の魅力を広く知らしめることが必要 ⇒自転車のまちであることの意識の浸透 ○レンタサイクルの取組みを認識することが必要 ⇒レンタサイクルの取組みの周知 ○山間部のサイクリング環境の整備が必要 ⇒山間部のサイクリング環境の充実
環境	○環境にやさしい自転車により、環境改善を推進することが必要 ⇒車から自転車への交通手段の転換の意識向上

ハード・ソフト・マインド
3部門それぞれに対応する

43施策を推進

市内12局 3区26課が連携し
各種施策を進めています



静岡市自転車を活かしたまちみがき庁内検討会議の様子
(平成30年6月12日開催)

自転車施策の取り組み紹介

〇 ハードの取り組み

- ・ 自転車走行空間ネットワーク整備の充実
- ・ 駐輪場の整備・運営

〇 ソフトの取り組み

- ・ 幼児期からの自転車安全教育
- ・ 静岡型自転車安全教育の構築
- ・ 放置自転車対策
- ・ 地元商店街等と連携した取組

〇 マインドの取り組み

- ・ 自転車マップの作成
- ・ 「しずおか自転車物語」冊子作成（市民協働企画）
- ・ タンデム自転車の導入
- ・ 自転車関連イベントの実施

〇 総合的な取り組み

- ・ 静岡市自転車サポーター制度

ハード 自転車走行空間ネットワーク整備の充実

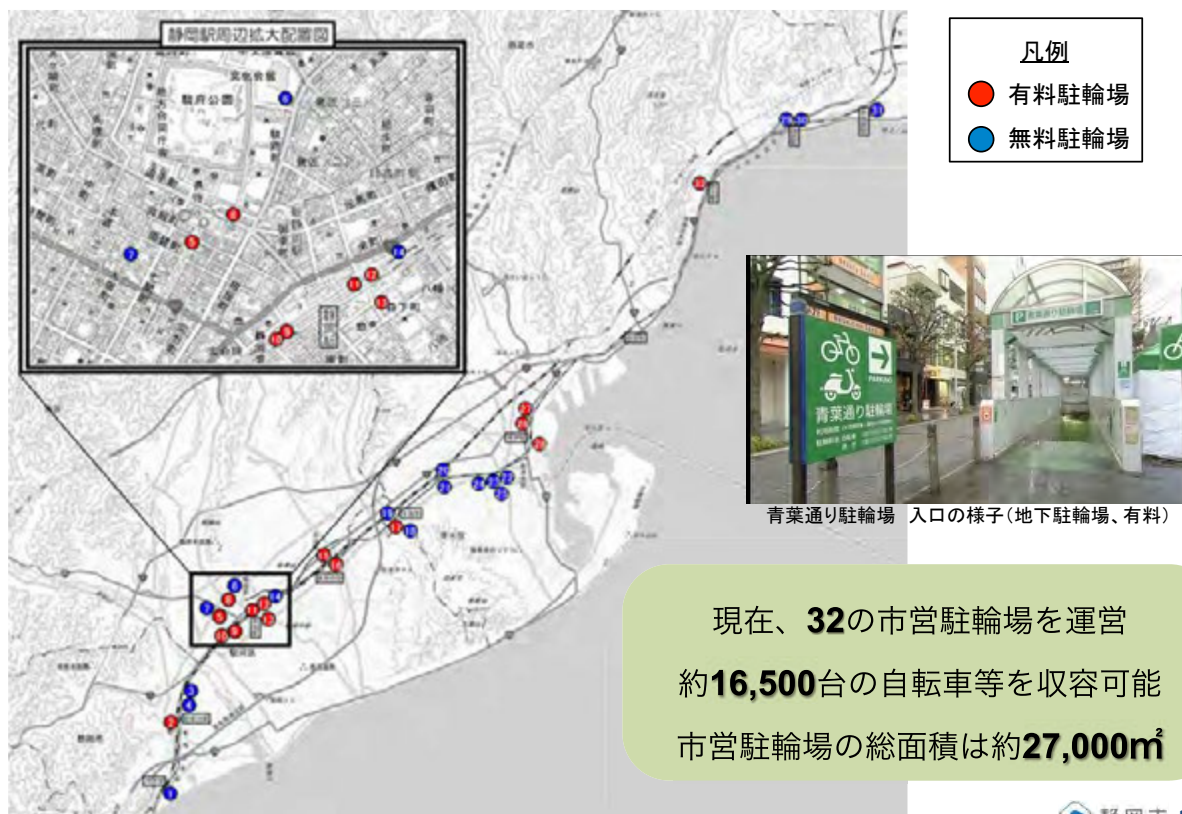
整備計画	延長 (k m)	路線数
前計画策定時整備済	44.1	29
概 成	25.1	34
H 2 1～H 2 6	46.3	50
H 2 7～H 3 4	144.2	180
H 3 5～	95.1	100
合 計	354.8	393

平成29年度末
約159 k m 完成



(上) 静岡市自転車走行空間ネットワーク整備計画
(左) 三保地区自転車走行空間ネットワーク整備計画

ハード 駐輪場の整備・運営



ソフト 幼児期からの自転車安全教育



デンマークの自転車安全教育を参考とした
 幼児向けのキックバイク教育
 その保護者向けに家庭での交通安全教育についての
 講習会を実施
 →遊びながら自転車に親しむ
 →将来に向けて、自転車操作能力の向上・
 自転車マナーの向上を図る

今年度、全市立こども（59園）
 で
 キックバイク講習会を実施



キックバイク講習会の実施状況

ソフト 静岡型自転車安全教育の構築

幼児期から高齢者までの段階毎における交通安全教育を推進し、県内でも高い事故率である本市の自転車事故を削減するため、勉強会を行い、自転車安全教育の仕組み・あり方を検討していく



平成30年7月6日
第1回静岡型自転車安全教育勉強会の様子

市関係課・警察・安全協会・学識
者
が一体となって検討を進める

ライフステージ別の自転車安全教育に
関する実施事業の確認・検証

↓
幼児期向けの自転車安全教本の
作成を目指す

ソフト 放置自転車対策

☑啓発活動の実施

- ・市内小学4年生、中学1年生に対して啓発品を配布
- ・放置自転車クリーンキャンペーンの実施

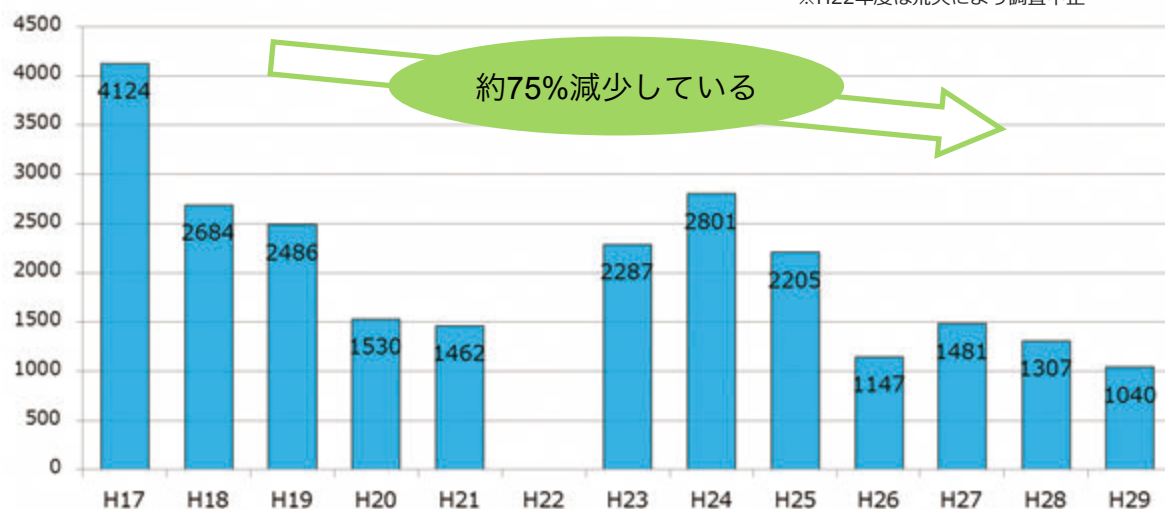
☑市営駐輪場などの整備

☑駐輪場附置義務の設定

☑放置自転車の警告・撤去・指導

☑放置自転車の再生（売却処分）

放置自転車台数の推移



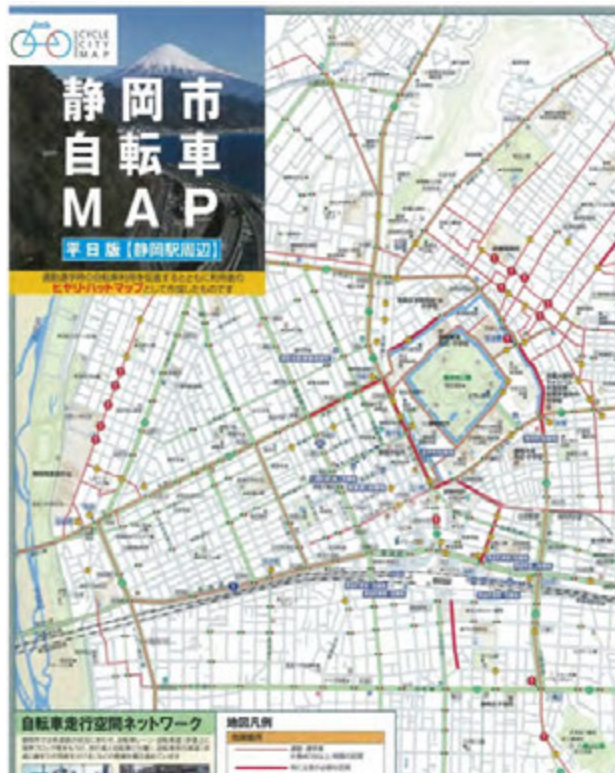
出典：交通政策課資料

ソフト 地元商店街等と連携した取組

- u 放置自転車対策
 - u まちなか商店街押し歩き
- 中心市街地商店街と連携して啓発活動を継続的に実施している



マインド 自転車マップの作成



マインド 「しずおか自転車物語」冊子作成（市民協働企画）

- Ⅰ 静岡市の自転車に関する歴史・文化について写真を通じて広く市民のみなさんに伝えていくために作成
- Ⅰ 明治～昭和40年代までの自転車のある風景写真を募集し、市民から50枚を超える提供があった
- Ⅰ 静岡で「けいきさん」の名で親しまれていた徳川最後の将軍、慶喜公が、静岡県内で初めて自転車に乗られたと言われる
（静岡県史、徳川慶喜邸日誌らの記録より）



徳川慶喜（1837～1913）



お茶の生産者と茶問屋の仲介役であった“才取（さいとり）”
茶問屋は1番に到着した才取のお茶に値を付けるため、
まるでレースのように疾走する才取たちの姿は
昭和40年代中頃までの静岡市の風物詩であった



マインド タンデム自転車の導入



平成28年12月1日より
静岡県内で公道走行解禁
（全国で14番目）

婚姻届提出者の記念撮影ブースに
期間限定でタンデム自転車を設置

市長及び副市長によるデモ走行
H28年12月1日 駿府城公園周辺道路



観光レンタサイクルとしての利用のほか
視覚に障害のある方でも自転車を
楽しめるため、福祉分野での活用も
期待されている

マインド 自転車関連イベントの実施

自転車の楽しさ、安心・安全をテーマにした参加・体験型のイベント
2,500人の来場者が訪れ、プロスポーツ選手らによるトークショーや
自転車試乗体験などを楽しんだ



平成29年11月19日 サイクルフェスin東静岡の様子



KEIRINグランプリ
地方競輪場での開催は初



平成30年11月18日(日)に開催
今年は東静岡&競輪場の2会場同時開催

総合 静岡市自転車サポーター制度

自転車に関係する“ハード”、“ソフト”、“マインド”、各分野での取り組みを
実施する企業・団体を「静岡市公認自転車サポーター」として部門毎に認定
官民が連携して自転車の利用環境の向上を図ることを目的

例えば、

利用環境向上により市民が積極的に自転車を利用する → 「健康」の増進

店舗等のサイクリストの受け入れ態勢を整える → 「賑わい」の創出

企業毎に自転車利用ルールของ講習会を行う → 「モラル」の向上

市民・地元企業らの自転車に関する意識の高まり → 「プライド」の確立

「世界水準の自転車都市“しずおか”」の実現



平成30年5月22日
認定証交付式の様子

今年5月から本格的にスタートし、
9月末時点で**35の企業・団体**を認定
今年度は50団体の認定を目指す

総合 静岡市自転車サポーター制度

ハード部門	ソフト部門	マインド部門
自転車の駅の実施協力 ・自転車ラック、空気入れ、簡易工具の設置 ・休憩スペース等の提供	自転車利用の ルール・マナーに関する取組	自転車の楽しさを伝える取組 自転車関連イベントの 企画・参画
道の駅などの道路休憩施設 市の委託管理施設 飲食店など	地元企業・金融機関 (各企業の自転車部が中心)	地元企業・金融機関 (各企業の自転車部が中心) 自転車サークル
	 平成30年9月17日 静岡ガス㈱自転車部 主催 こども自転車教室(補助輪をはずせるようにする)	 平成30年6月3日 HOBBY RIDER SHIZUOKA 主催 初心者向けのタイヤ教室 (自転車の駅であるたいやき店が場所を提供したサポーター間のコラボイベント)

自転車ラックは
市の間伐材を利用して
製作しています

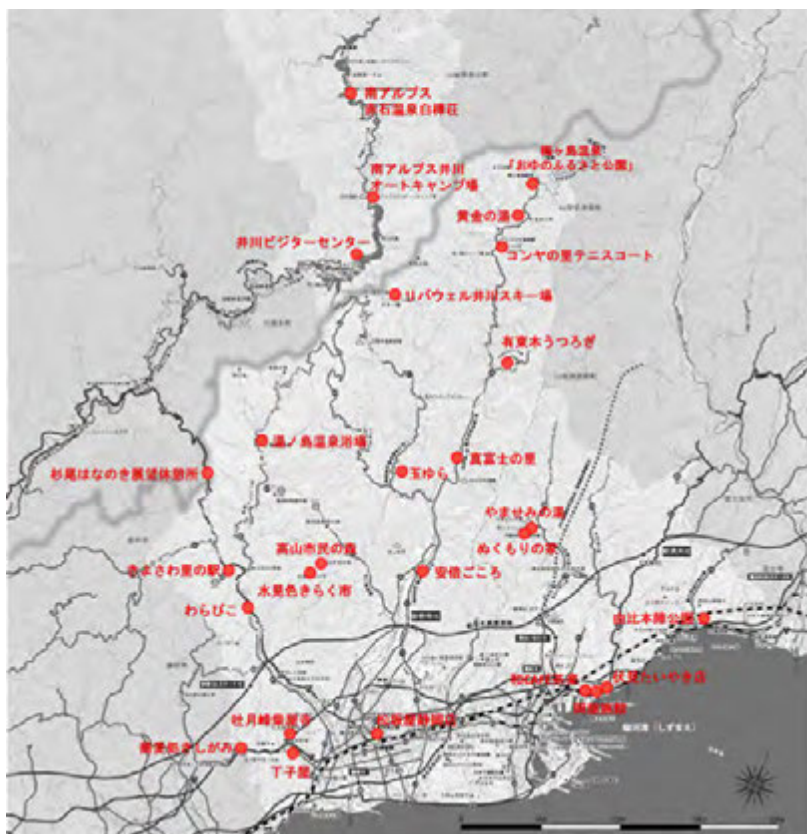
総合 静岡市自転車サポーター制度

ハード部門

自転車の駅を27か所設置 (平成30年9月末時点)

山間部の道の駅等の施設(オクシズエリア)
東海道沿いの施設・店舗を中心に拡大中

↓
今後は海沿いに拡大していきたい



SNS・ホームページ等で
自転車の駅についてPRしていただいている

静岡市の自転車生活情報サイト「しずおかサイクルシティ」

- ┃ 静岡市自転車サポーター制度
(申請書のダウンロード、自転車の駅情報、認定者一覧、取組み内容の紹介)
- ┃ 市営駐輪場情報
- ┃ 静岡市自転車マップに掲載されている自転車コースの紹介

などを掲載



[https:// www.shizuoka-cyclecity.jp](https://www.shizuoka-cyclecity.jp)



ぜひご覧ください

しずおかサイクルシティ トップページ

＼ ご清聴ありがとうございました ／



あおいくん(葵区)



トロペー(駿河区)



シズラ(清水区)

＜お問い合わせ先＞
静岡市 都市局 都市計画部 交通政策課
TEL：054-221-1570 FAX：054-221-1060
E-mail：kotsu@city.shizuoka.lg.jp